

—— 議員勉強会を開催しています ——

富士見町の全議員でつくる議員会では、多方面から講師をお招きし、様々な分野を勉強しています。6月10日には、上諏訪商店街振興組合理事長の三村昌暉さんに「街並みを整備し、諏訪市本町通り商店街の活性化を図る事業」をご紹介いただきました。

●事業の目的

諏訪市では近年都市の成熟化が進み、上諏訪駅前中心市街地の活性化が大きな課題となっています。市が平成13年度に策定した中心市街地活性化基本方針は、「諏訪らしさの表現」「バリアフリーのまち」「まちの回遊性」「市民参加のまちづくり」です。

中心市街地上諏訪駅前商店街で構成する上諏訪商店街振興組合は、この構想計画に沿って「安全で快適な歩行者空間づくり」「個性的な街並みづくり」「商店街環境整備」などを柱として、商店街の活性化を目指しています。

国交省が実施する国道20号線上諏訪駅地区の無電柱化事業にあわせて「レトロといやしのまち」をコンセプトに、高齢化社会に対応した街並みづくりを進めています。

●事業の概要

当該区には、昭和初期の「看板建築」が7割以上残っており、専門家から高い評価を受けています。整備事業は、無電柱化事業で実施される既存アーケードの撤去に合わせ、看板建築を活かし統一した街並みに整備する事業で、市民や観光客を街中に回遊させる導線整備事業でもあります。

各店舗統一看板の設置・高齢者に対して癒しと優しさや元気を提供できる商店街・地域資源（諏訪湖、上諏訪温泉街、高島城など）を有機

的に結ぶ諏訪ならではの回遊性のある導線づくり等により、街に賑わいを創出していきます。

●成果と課題

街並み景観は、既設アーケードを撤去したことにより歩道空間が広がり、以前にまして明るさを感じるようになりました。

今後は、統一された個性的な街並み景観としての看板建築を活かし、明るく広がりのある歩道空間を活用して、特に土・日曜日の通行量増加を図るため、既存・新規イベントの拡充強化を行う。また、空き店舗の解消に向けて、振興組合が積極的に組合員に働きかけ、新規開店導入を図っていききたいとのことでした。

(総務経済常任委員長 小林 光)



整備が進む諏訪市内 国道20号沿線

6月臨時会

審議報告

6月30日に開催された臨時会では、「富士見町経済危機対策」に関連した補正予算の審議を行いました。

この対策は、国の補正予算に対応した経済危機対策で、歳入歳出総額に2億2千9百万円を追加し、予算総額を67億6千4百万円とするものです。歳入のうち、1億5千2百万円は「経済危機対策臨時交付金」が予定されています。主な事業は次のとおりです。

○保健センター外壁等修繕	1千73万円
○福祉センター補修工事	3千500万円
○農地有効支援整備事業	2千257万円
○グリーンカルチャー改修工事	3千810万円
○入笠山交流施設設置事業	2千94万円
○道路維持補修・改良事業	2千500万円
○地域防災支援事業	300万円
○学校ICT環境整備事業	1千269万円
○中学校統合整備事業	1千140万円
○町民広場夜間照明改修工事	3千844万円

国の交付金の目的への適合（①地球温暖化対策、②少子高齢化社会への対応、③安全・安心の実現、④将来に向けた地域の実情に応じた地域活性化等に資する事業）を踏まえ、福祉・産業・防災・教育等の充実を図り、地域経済の活性化も期待できるとして、全員一致で原案どおり可決しました。